

令和五年十一月二十三日 信者心の基勉強会 健康編

神 示

家族一人一人が

任と立場を知り わきまえて 関わる家庭に

人間の<sup>ひと</sup>実体<sup>こころ</sup>は高められる

豊かな心が育まれる 家庭の<sup>すがた</sup>真理<sup>が</sup> ここにある

信者に申す

健康と病 対峙<sup>たいじ</sup>するものではない

豊かな心を身に付け 生活すれば

自然と病は癒やさされ 心も 体も生き生きしてくる

神示「真理」が 人間の心を教えている

人たる人の心を知って 日々<sup>にちにち</sup>送るところに

人間の<sup>ひと</sup>実体<sup>こころ</sup>は安定し 豊かな心が芽吹き始める

「運命」の力を惜しみなく社会<sup>よ</sup>に奉仕し

欲心<sup>よくしん</sup>を解放するほど

人間の心は豊かになれる

信者は 「希望の<sup>みち</sup>光<sup>を</sup>」を通す心の<sup>すがた</sup>眞実<sup>を</sup> 今日<sup>いま</sup>こそ悟る時代<sup>とき</sup>

「希望の<sup>みち</sup>光<sup>を</sup>」を歩む人間<sup>ひと</sup>は皆 眞の健康を手にてきる